



独立行政法人 地域医療機能推進機構 (JCHO)のへき地医療対策について

独立行政法人 地域医療機能推進機構
医療・地域包括担当理事 亀井 美登里

1. 設立目的

独立行政法人 地域医療機能推進機構（略称 JCHO [ジエイチオー]：Japan Community Health care Organization）は、病院、介護老人保健施設等の運営を行い、救急医療・災害時における医療・へき地医療・周産期医療・小児医療、リハビリテーションその他地域において必要とされる医療機能の確保を図り、もって公衆衛生の向上・増進や住民福祉の増進に寄与することを目的とする

2. 設立時期 平成26年4月1日

3. 施設 病院：57施設 介護老人保健施設：26施設 地域包括支援センター：10施設 看護専門学校：7施設 研修センター：1施設

4. 職員数 約2.8万人

5. 使命

- (1) 地域医療、地域包括ケアの要として、超高齢社会における地域住民の多様なニーズに応え、地域住民の生活を支えます
- (2) 地域医療の課題の解決・情報発信を通じた全国的な地域医療・介護の向上を図ります
- (3) 地域医療・地域包括ケアの要となる人材を育成し、地域住民への情報発信を強化します
- (4) 独立行政法人として、社会的な説明責任を果たしつつ、透明性が高く、財政的に自立した運営を行います

6. JCHOホームページ www.jcho.go.jp



独立行政法人 地域医療機能推進機構(JCHO)の病院

上段：(旧病院名)
下段：新病院名 ※

※正式名称には新病院名の前に

「独立行政法人地域医療機能推進機構」が付く

(九州厚生年金病院)
九州病院

(社会保険久留米第一病院)
久留米総合病院

(健康保険直方中央病院)
福岡ゆたか中央病院

(佐賀社会保険病院)
佐賀中部病院

(社会保険浦之崎病院)
伊万里松浦病院

(健康保険諫早総合病院)
諫早総合病院

(健康保険熊本総合病院)
熊本総合病院

(健康保険人吉総合病院)
人吉医療センター

(健康保険天草中央総合病院)
天草中央総合病院

(健康保険南海病院)
南海医療センター

(湯布院厚生年金病院)
湯布院病院

(社会保険宮崎江南病院)
宮崎江南病院

(社会保険高岡病院)
高岡ふしき病院

(金沢社会保険病院)
金沢病院

(福井社会保険病院)
福井勝山総合病院

(社会保険高浜病院)
若狭高浜病院

(岐阜社会保険病院)
可児とうのう病院

(社会保険中京病院)
中京病院

(四日市社会保険病院)
四日市羽津医療センター

(北海道社会保険病院)
北海道病院

(札幌社会保険総合病院)
札幌北辰病院

(登別厚生年金病院)
登別病院

(仙台社会保険病院)
仙台病院

(宮城社会保険病院)
仙台南病院

(秋田社会保険病院)
秋田病院

(社会保険二本松病院)
二本松病院

(宇都宮社会保険病院)
うつのみや病院

(社会保険群馬中央総合病院)
群馬中央病院

(社会保険大宮総合病院)
さいたま北部医療センター

(埼玉社会保険病院)
埼玉メディカルセンター

(千葉社会保険病院)
千葉病院

(社会保険船橋中央病院)
船橋中央病院

(せんぽ東京高輪病院)
東京高輪病院

(東京厚生年金病院)
東京新宿メディカルセンター

(社会保険中央総合病院)
東京山手メディカルセンター

(城東社会保険病院)
東京城東病院

(社会保険蒲田総合病院)
東京蒲田医療センター

(社会保険横浜中央病院)
横浜中央病院

(横浜船員保険病院)
横浜保土ヶ谷中央病院

(社会保険相模野病院)
相模野病院

(湯河原厚生年金病院)
湯河原病院

(社会保険山梨病院)
山梨病院

(三島社会保険病院)
三島総合病院

(社会保険桜ヶ丘総合病院)
桜ヶ丘病院

(社会保険神戸中央病院)
神戸中央病院

(奈良社会保険病院)
大和郡山病院

(玉造厚生年金病院)
玉造病院

(社会保険下関厚生病院)
下関医療センター

(総合病院社会保険徳山中央病院)
徳山中央病院

(社会保険滋賀病院)
滋賀病院

(社会保険京都病院)
京都鞍馬口医療センター

(大阪厚生年金病院)
大阪病院

(大阪船員保険病院)
大阪みなと中央病院

(星ヶ丘厚生年金病院)
星ヶ丘医療センター

(社会保険栗林病院)
りつりん病院

(宇和島社会保険病院)
宇和島病院

(厚生年金高知リハビリテーション病院)
高知西病院

第1 国民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

独立行政法人地域医療機能推進機構は、病院群の地域的かつ機能的な多様性の強みを活かし、5疾病5事業、リハビリテーション、在宅医療、その他地域において必要とされる医療及び介護について、地域医療機構が有する全国ネットワークを活用しつつ医療等の確保と質の向上を図ることを目指す。(以下略)



5事業

救急医療 災害医療 へき地医療
周産期医療 小児医療

へき地医療

各病院等における取組み

へき地医療拠点病院の指定又はへき地診療の支援として巡回診療等に従事していること。

機構全体としての取組み

へき地を含む医師不足地域への支援について、全国的なネットワークを活かして協力を行う。

また、へき地医療従事者に対する研修を開催するとともに、遠隔医療の支援に積極的に参加する。



独立行政法人地域医療機能推進機構における へき地等への医療支援の現状

1. へき地医療拠点病院
2. へき地診療所等の指定管理
3. へき地診療所への支援例
(長期派遣、専門医派遣、代診)
4. 医師不足地域への支援例
(公的医療機関等)
5. 被災地の支援に関して



1 へき地医療拠点病院

りつりん病院

(香川県 平成15年4月～)

九州病院

(福岡県 平成18年4月～)

南海医療センター

(大分県 平成15年4月～)

* 個別の支援例に関しては後述



2 へき地診療所等の指定管理

伊万里松浦病院 （佐賀県 平成23年10月～）

過疎地である隣県の松浦市立中央診療所の指定管理者としてへき地医療の支援を行っている。

人吉医療センター （熊本県 平成23年 4月～）

医療過疎となっている球磨郡五木村から村立診療所（へき地診療所）の指定管理者として運営の委託をされている。



3-1 へき地診療所への支援例

～長期の派遣例～

東京新宿メディカルセンター
東京山手メディカルセンター

新島村国保本村診療所(へき地診療所)へ
診療医1名を派遣

機構として1年契約。一人当たり3～6か月の期間を想定。



3-2 へき地診療所への支援例

～定期的な専門医の派遣例 その1～

玉造病院

海士町国保海士診療所(へき地診療所)へ診療支援
(整形外科 月1回)

徳山中央病院

周南市大津島診療所(へき地診療所)へ診療支援
(内科系 週2回、外科系 週1回)

りつりん病院(へき地医療拠点病院)

小豆島町内海病院(へき地診療所)へ診療支援
(整形外科 隔週1回)



3-2 へき地診療所への支援例

～定期的な専門医の派遣例 その2～

九州病院(へき地医療拠点病院)

新宮町相島診療所(へき地診療所)へ診療支援
(内科 隔週1回)

熊本総合病院

国保吉尾温泉診療所(へき地診療所)へ診療支援
(総合診療 隔週1回)



3-3 へき地診療所等への支援例

～代診の対応例～

りつりん病院(へき地医療拠点病院)

国保本島診療所(へき地診療所)に代診医師派遣

国保広島診療所(へき地診療所)に代診医師派遣

南海医療センター(へき地医療拠点病院)

国保因尾診療所(へき地診療所)に代診医師派遣

国保丹賀診療所(へき地診療所)に代診医師派遣



4 医師不足地域への支援例 その1

北海道病院

市立稚内病院に週2回診療支援(循環器内科)

倶知安厚生病院に週3回診療支援(循環器内科)

* 北海道緊急医師確保事業による

秋田病院

湖東総合病院に週1回診療支援(消化器内科)

能代山本医師会病院に月2回診療支援(整形外科)

* 各病院の要請による



4 医師不足地域への支援例 その2

可児とうのう病院

国保坂下病院へ週1回診療支援(泌尿器科)

中濃厚生病院へ週1回診療支援(麻酔科)

* 各病院の要請による

天草中央総合病院

天草市立牛深市民病院に週1日診療支援

(産婦人科)

天草郡市医師会立苓北医師会病院に週2回診療支援

(小児科)

* 各病院の要請による(地域の産婦人科の集約化も影響)

5 被災地への支援に関して

1. 浪江町国保仮設津島診療所に週一回月曜日診療支援

平成26年4～9月 うつのみや病院を中心に支援

10月以降は東北・関東の病院も支援に加わる。

(仙台病院・仙台南病院・二本松病院・埼玉メディカルセンター・
東京新宿メディカルセンター・東京高輪病院・
東京蒲田医療センター 等)

2. 浪江町仮設住宅を中心としたリハビリ指導・栄養指導 (腰痛・膝痛予防等の体操及び栄養講話)

平成26年4～9月 二本松病院より医療従事者を派遣し
指導の体制を構築した。(10月以降は浪江町の職員で実施)

実施場所: 杉田住民センター仮設、杉内仮設住宅、
大平仮設住宅、永田仮設住宅

それぞれ一週間毎に4回ずつ。計16回

3. 県外避難者に対する支援も含め、浪江町と包括的連携協定を締結 5月7日浪江町役場にて調印式を行った。 (浪江町馬場町長と尾身理事長)

JCHO人吉医療センターの へき地医療に対する取り組み



独立行政法人 地域医療機能推進機構

人吉医療センター 院長 木村 正美

2014.10.17

JCHO HMCの概要(1)

所在地：熊本県人吉市老神町3-5 医療圏名：球磨

- ◆地域医療支援病院
- ◆地域がん診療連携拠点病院
- ◆臨床研修指定病院(基幹型・協力型)
- ◆災害拠点病院
- ◆DMAT指定病院
- ◆救急告示病院・病院群輪番制病院
- ◆地域周産期中核病院
- ◆小児救急医療拠点病院
- ◆第二種感染症指定病院
- ◆日本医療機能評価機構認定病院

JCHO HMCの概要(2)

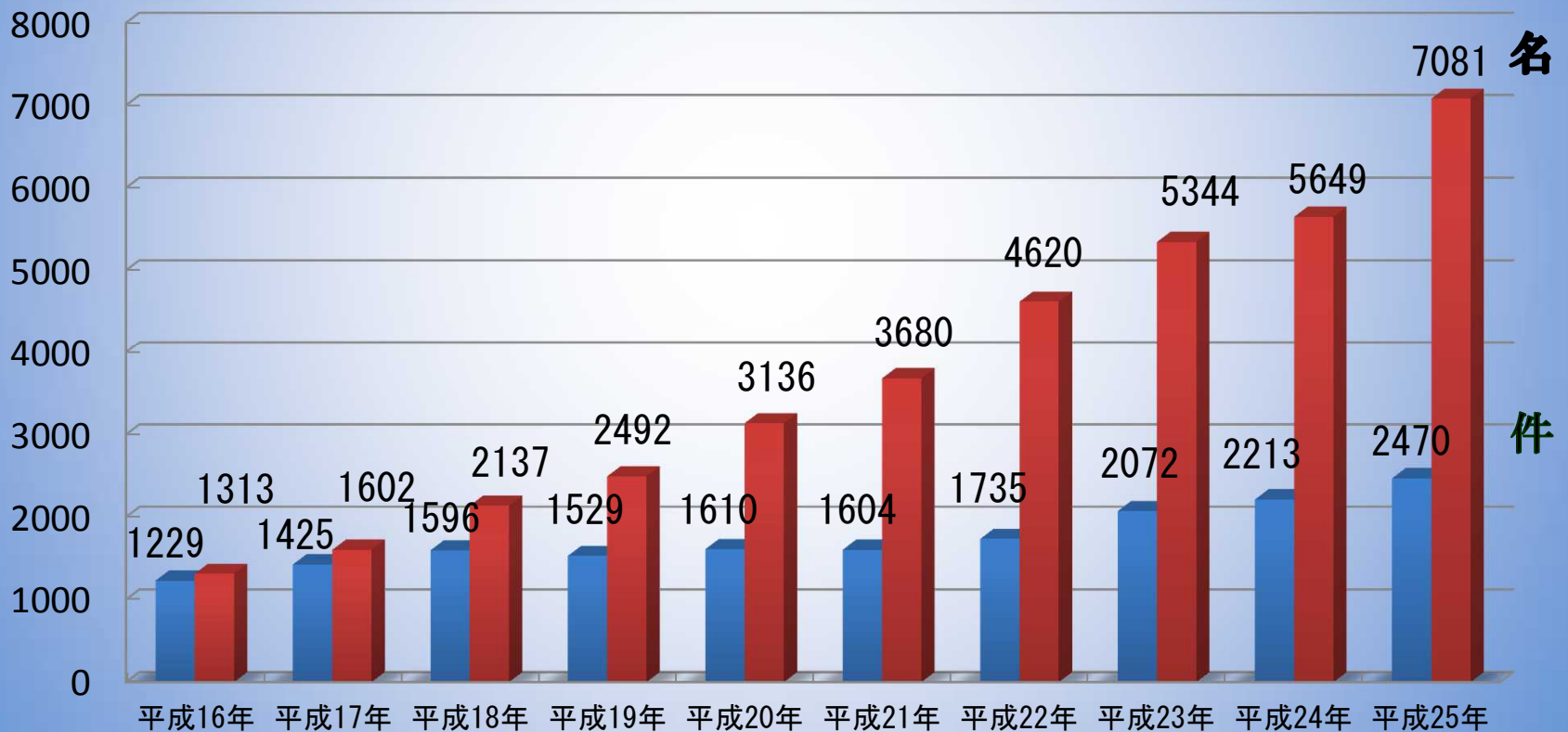
- ◆診療科 26診療科
- ◆許可病床 252床
- ◆7:1看護基準 (緩和ケア23床 ICU8床)
- ◆職員460名 (医師47名、歯科医3名、看護師226名)
- ◆主な医療機器 放射線治療装置 PET/CT 64列CT
MRI 1.5 3.0



JCHO HMC 救急外来患者数

■ 救急車搬送数 ■ 救急外来患者数

(19.4名/日)



五木村の概要

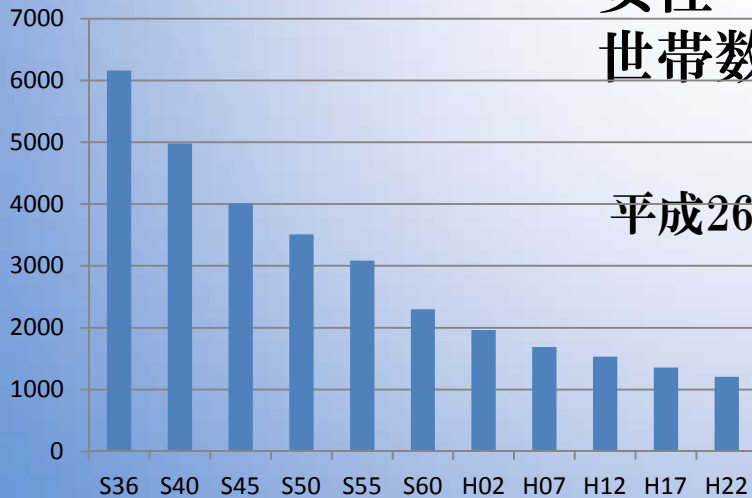
熊本県南部、二次医療圏域の北部に位置している。村全体が九州山地の山岳地帯にあるため、標高1,000m以上の山岳が連なり、平坦部は非常に少なく深い峡谷が縦横に走る急峻な地形が特徴。

面積 : 252.94km²

人口 : 1,227人 男性 : 593人

女性 : 634人

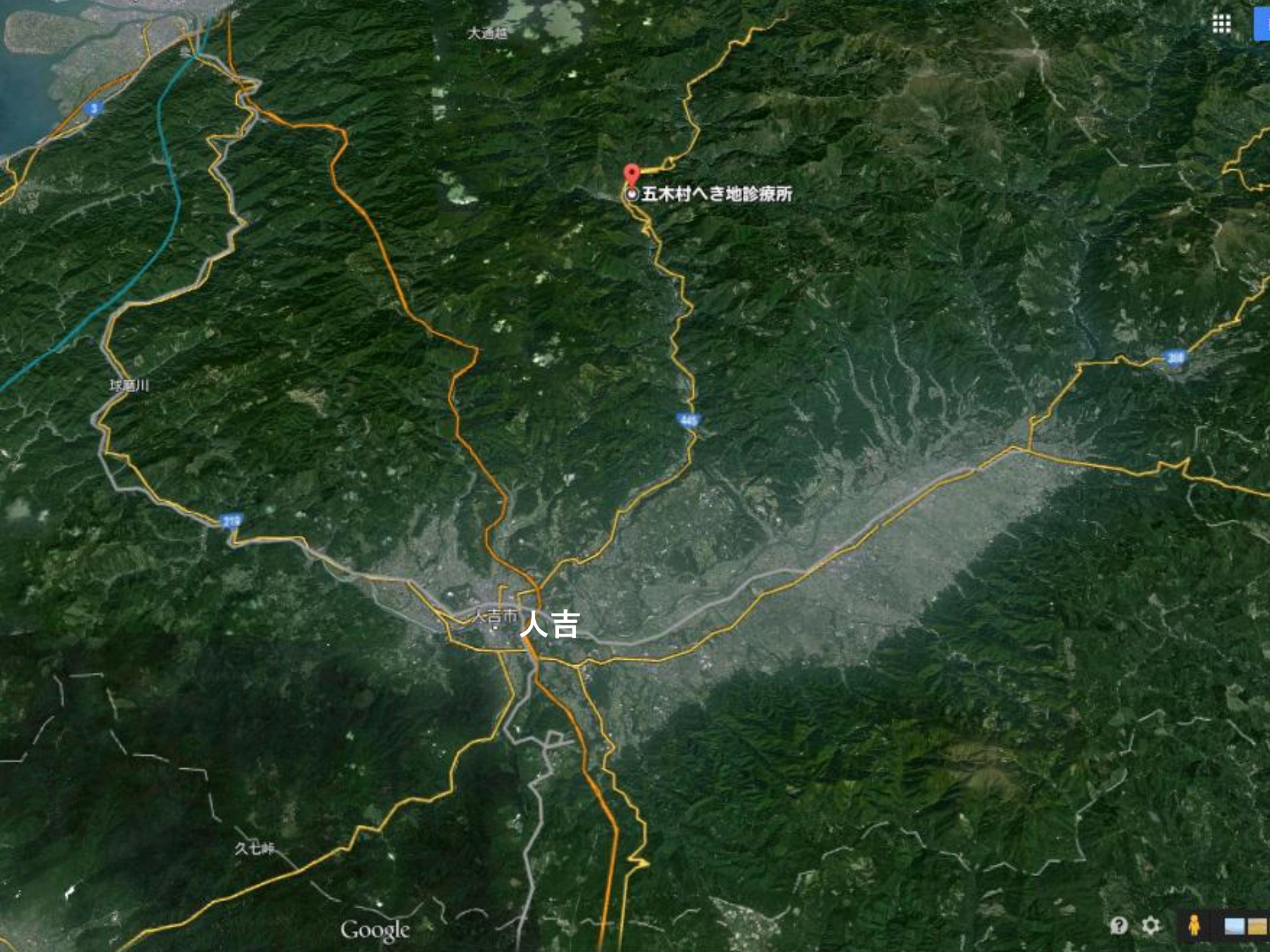
世帯数 : 525世帯





五木村へき地診療所

人吉医療センター



大通越

五木村へき地診療所

球磨川

人吉市

久七峠

Google

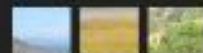


掛橋谷



五木村へき地診療所

Google



五木村診療所の歴史

- 昭和30年 「国民健康保険直営診療所」として開設
熊大第一外科から1か月交代で赴任
- 昭和58年 「五木村診療所」、常勤医確保
- 平成3年10月～4年5月 人吉総合病院から日替わりで応援
- 平成4年6月～ 松橋町の医師常勤赴任
- 平成11年 熊本県の協力 自治医科大学卒医師の派遣開始
- 平成20年4月～ 人吉総合病院 医師と看護師の派遣開始
- 平成23年4月～ 人吉総合病院 指定管理者として運営開始

(～平成28年3月31日)



五木村診療所の診療体制

- ◆診療科 内科・外科・歯科
- ◆診療曜日 月・火・木・金（水曜日：休診）
- ◆診療時間 8:30～17:15

◆スタッフ

医科医師 [所長：自治医大卒医師（県より派遣）
・外科 ・血液内科 ・代謝内分泌内科 ・呼吸器内科

歯科口腔外科医師

看護師 3名 看護助手 1名

歯科衛生士 1名 事務員 1名

診療の様子



指定管理者制度による運営

運営の目的

1. 五木村住民の医療の質の確保
2. 五木村住民の健康維持
3. 五木村住民の医療に対する安心・安全の確保

運営戦略

1. 五木村診療所の運営の健全化①②
2. 五木村住民の健康診断及び予防活動
3. 五木村との医療連携

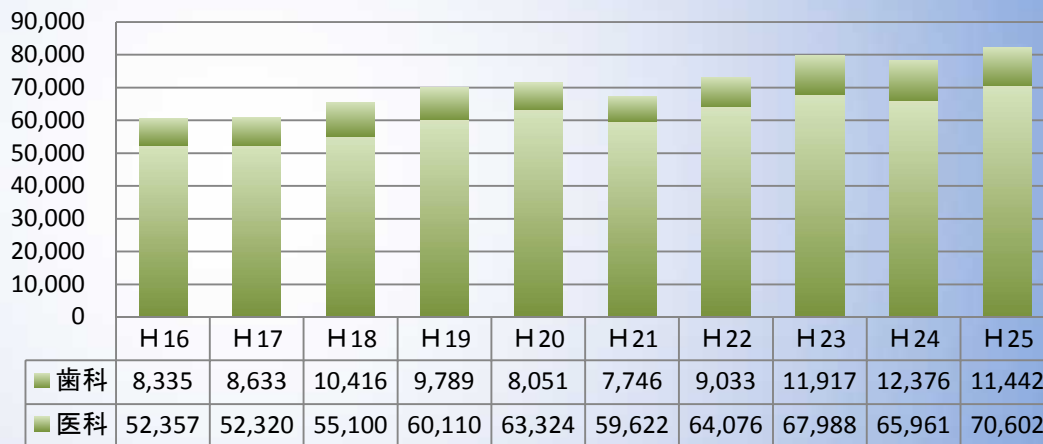
指定管理者制度による運営

1. 五木村診療所の運営の健全化①

コンセプト：公的病院であることを鑑み、収入アップを前面に推し進めるものではなく、必要な診療の再確認と診療請求漏れを防止することにより、適切な診療請求を求めていく。

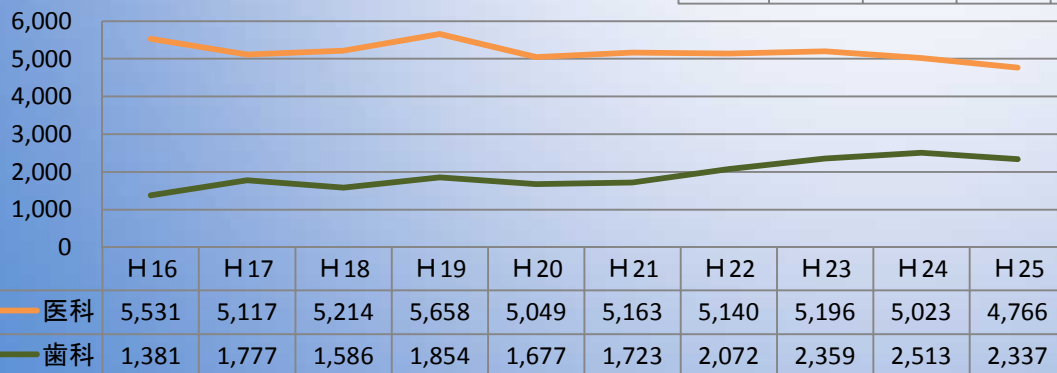
収益：増加傾向
専門医による検査・
処置の収益が増加

収益



単位：千円

患者数



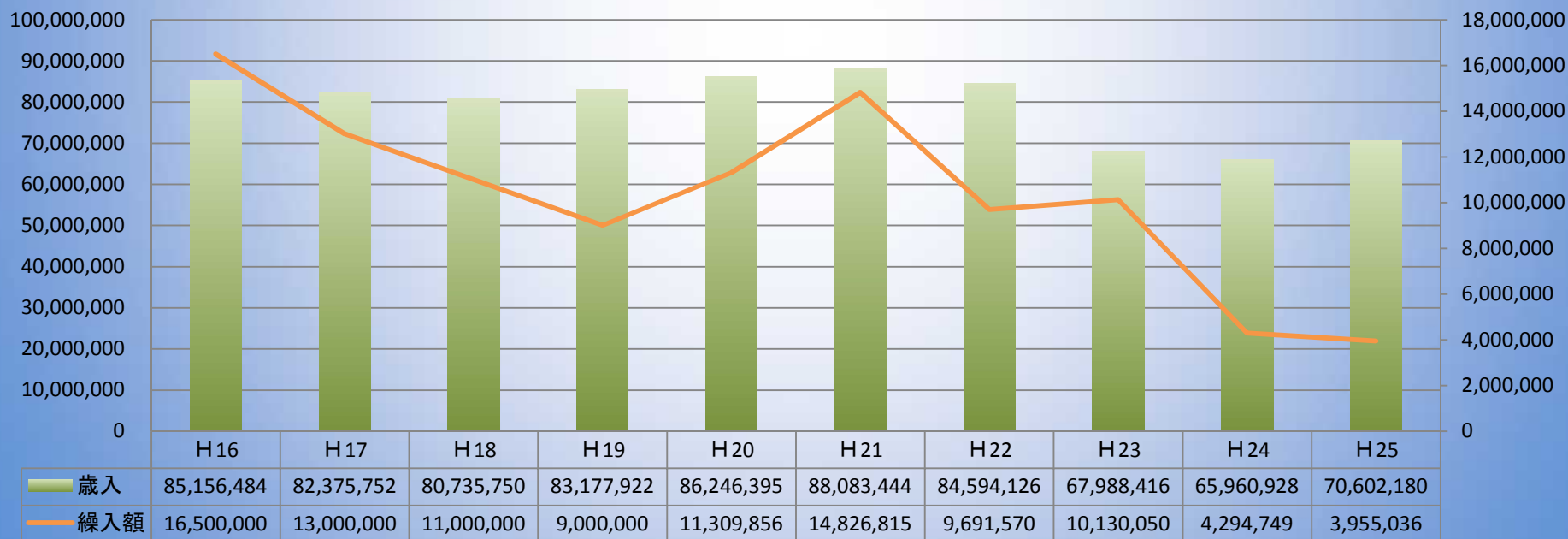
患者数：医科は減少傾向
歯科は増加傾向

指定管理者制度による運営

1. 五木村診療所の運営の健全化②

コンセプト： 公的医療機関を持つ自治体では繰入金を投入しても平成18年度統計で、全国973の自治体の赤字合計は1,986億円。経営努力(人件費の適正化・薬品費・材料費の購入金額・デットストックを含めた在庫の見直し等)により繰入金の負担軽減に資する。

歳入額と繰入額



五木村診療所に対する繰入金は、平成16年と比較すると、1200万円減少

指定管理者制度による運営

2. 五木村住民の健康診断及び予防活動

コンセプト： かかりつけ医的な役割を目指し、予防医療を含め総合的な医療の提供を行う。

1) 健康診断について

五木村住民健診においては人間ドック事業は人吉医療センターで行い、一般健診は、他機関が行っている。今後、五木村の保健師と相談し、総合的なフォローを目指している。

2) 予防接種事業について

各種予防接種は、専門医及び小児科医により、毎年度施行している。

3) セミナー開催について

循環器内科医師による「断煙講演」を平成23年度以降、年1回開催。
また、各保育所において当院ボランティアチームによる「発熱対応講演」を開催している。

指定管理者制度による運営

3. 五木村との医療連携

コンセプト：当院から診療所までの距離・時間は、道路のインフラ整備が行われたとはいえ、かなりの距離・時間を要する。医療連携のためのITインフラ整備が必要である。

1) IT化の推進

平成24年度から、当院で使用している電子カルテ（医事会計システムを含む）画像ファイリングシステム MRI CT X線 RI、検体検査の情報、薬剤情報を整備し、情報の一元化を行っている。今後、iPad等のIT機器を利用し訪問看護等にも力を入れていく。

2) 病診連携の推進

かかりつけ医を当センターが担当することで、住民の安心・安全を確保していると考えます。また、当院がヘリポートを所有していることで、ドクターヘリの受入が可能なこと、救急告示病院・二次救急病院であり、断らない救急を実践していることから、更に夜間の救急対応にも貢献していると考えます。

派遣医

- 自治医大出身者のキャリア、専門医取得
- 学会参加、有給休暇、ワークライフバランス
- 子育て、教育、不便
- 充実感がない仕事に対するストレス、へき地生活のストレス
「地域中核病院から派遣」
- 月1回や週1回なら文句は出ない
- 熊本からなら2時間以上かかる
- 顔見知りの（ベテラン）先生が手伝う
- 大学医局派遣の若い医師は派遣しない
- 地域住民との触れ合い
- サテライトクリニック（外来）
- 大学から地域外来は○、へき地外来助成は×
- 急性期医療から離れ少しリフレッシュ??



「へき地医療支援機構の助成不要」

「全身が診れる医師」に 24時間、365日いてほしい

- 全身が診れる医師教育はやってこなかった
 - 自治医大出身者等に押し付けてきた
 - 無床診療所→実際は24時間、365日にはなっていない
 - インフラ整備・ヘリ→時間短縮
 - 診療内容：プライマリーケア<救急<慢性疾患、介護？
-
- 専門性の高い外来診療
 - 電子カルテ連結→診療情報共有
 - 24時間、365日病院がバックアップ

へき地医療 ～継続のための問題点～

◆医師確保

へき地医療において、統括的・総合的に診療できる医師は必要であり、総合診療医の育成は不可欠である。当院には、へき地医療を行うことで、県より自治医科大学卒の医師1名が派遣されているが、専門医のへき地派遣は、地域住民において医療に対する安心・安全を確保する観点から重要な要素として捉えている。

専門医と総合診療医の派遣を今後進める中で、当院の専門医の充足及び自治医科大学卒の医師複数制は喫緊の課題と言える。

◆IT化の推進

当センターと診療所の診療記録を同じ機種電子カルテで行うことで、患者管理の一元化が推進できたが、今後、訪問看護を含めた在宅医療を進めるにあたり、SMSを含めたIT化の推進が重要であると考えます。インフラ整備に対し、国及び県の積極的な支援が必要ではないでしょうか。

地域医療とへき地医療

- 地域医療支援病院とへき地医療支援病院
 - 地域がへき地
 - へき地医療支援病院が支援される
- へき地医療支援機構・地域医療支援機構・地域医療機能推進機構
 - 抱える問題は同じ
 - 連携・協力・統合
- 医療計画とへき地保健医療計画
 - 統合

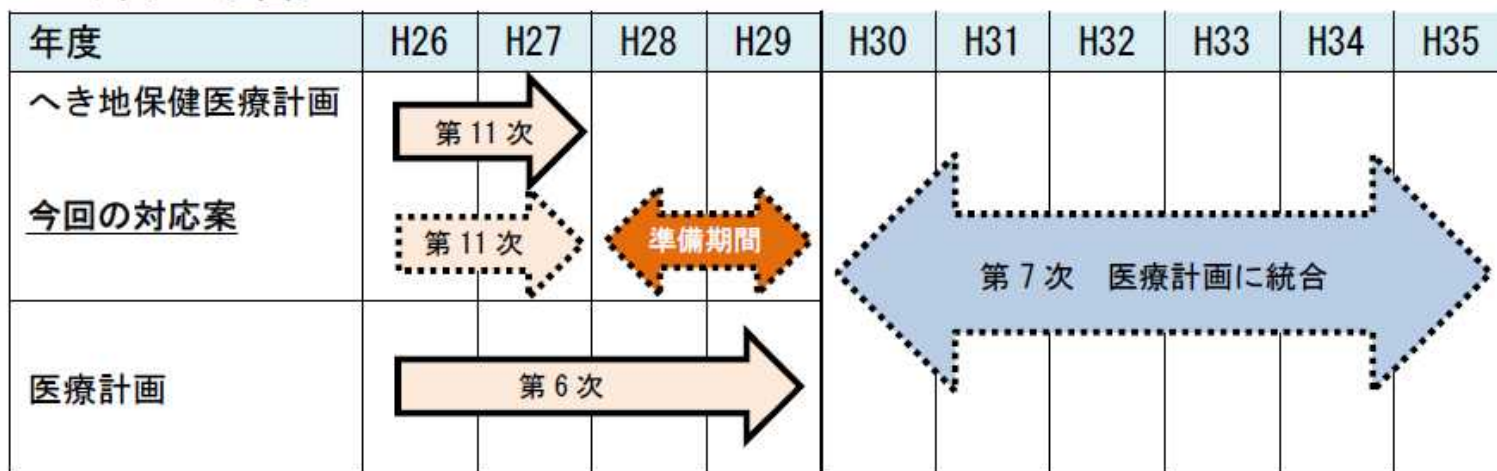
へき地保健医療計画について

参考:厚生労働省ホームページ

<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10801000-Iseikyoku-Soumuka/0000054905.pdf>

○へき地保健医療計画	第10次計画期間	平成18～22年度
	第11次計画期間	平成23～27年度
○医療計画	第5次計画（へき地が追加）	平成20～24年度
	第6次計画	平成25～29年度
	第7次計画	平成30～35年度

<イメージ図>



熊本県地域医療支援機構

関連リンク



熊本大学医学部附属病院

Kumamoto University

(財)日本医療機能
評価機構認定病院



外来のご案内

入院のご案内

診療科等のご案内

医療機関の方へ

教育・研究・研修

建



診療科等のご案内

内科部門

地域医療支援センター

熊本県へき地医療支援機構



熊本県内のへき地医療拠点病院・へき地診療所（平成25年度）

■へき地医療拠点病院

- ① 山都町包括医療センター子よう病院
- ② 球磨郡公立多良木病院
- ③ 上天草市立上天草総合病院

■へき地診療所

- ① 熊本県立熊本市民病院附属若野診療所
- ② 阿蘇市波野診療所
- ③ 産山村診療所
- ④ 産山村産科診療所
- ⑤ 北部へき地診療所
- ⑥ 鍋川へき地診療所
- ⑦ 井田へき地診療所
- ⑧ 下岳診療所
- ⑨ 旗原診療所
- ⑩ 泉嶺診療所
- ⑪ 芦北町国民健康保険 吉屋温泉診療所
- ⑫ 芦北町国民健康保険 吉屋温泉診療所大岩出張所
- ⑬ 国保水原市立総合医療センター 附属久木野診療所
- ⑭ 古原敷診療所
- ⑮ 五木村診療所
- ⑯ 根木診療所
- ⑰ 湯島へき地診療所
- ⑱ 敷島木診療所
- ⑲ 御所浦北診療所



熊本赤十字病院
へき地医療支援センター



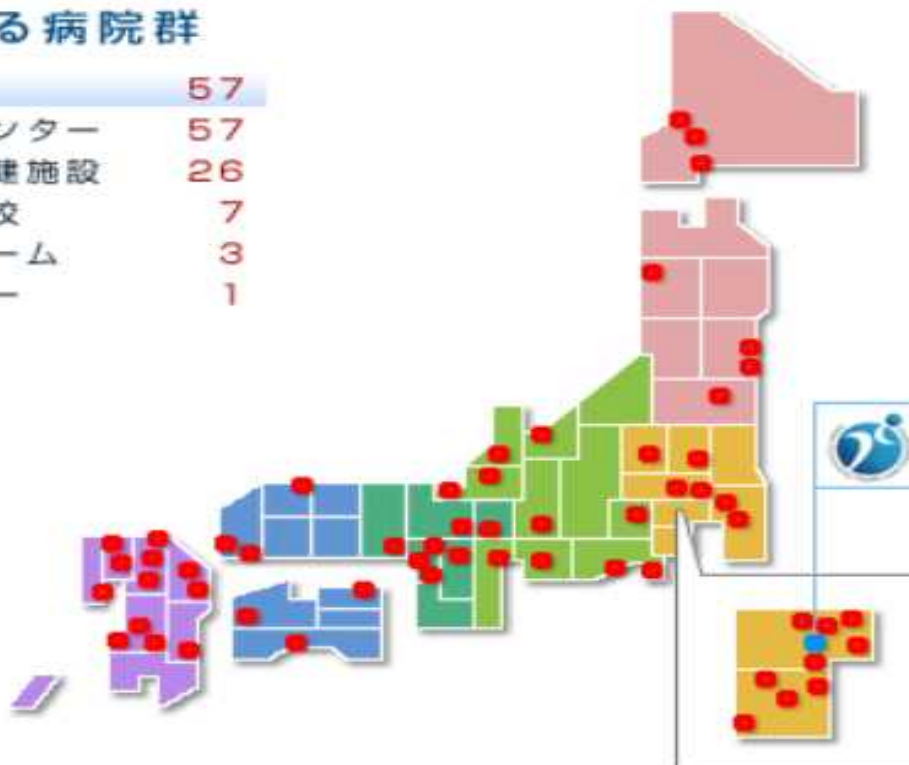
独立行政法人

地域医療機能推進機構



全国に広がる病院群

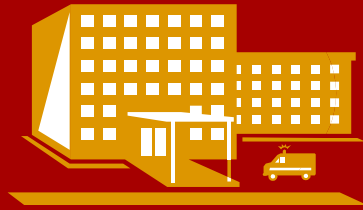
・病院	57
・健康管理センター	57
・介護老人保健施設	26
・看護専門学校	7
・健康増進ホーム	3
・研修センター	1



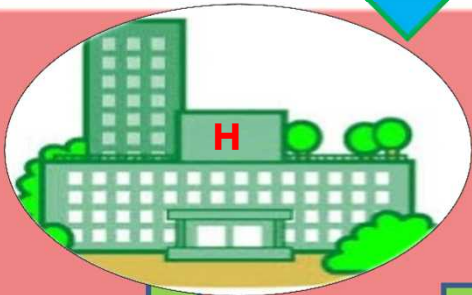
JCHO本部

東京都港区高輪3-22-12

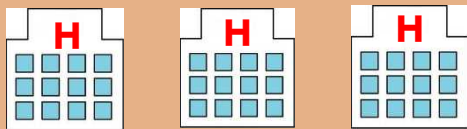
地域医療支援(重層型)イメージ



大学病院
県地域医療支援機構
県へき地医療支援機構
県へき地医療支援センター



圏域別
各 地域医療支援病院
各 地域中核病院
各 (地域医療機能推進機構)



圏域別
各 へき地医療支援病院
社会医療法人 小病院
診療所 へき地診療所
療養施設